

令和元年8月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和元年8月22日(木)

開会 午前9時30分 閉会 午前11時08分

2 場 所

市役所西館 2-6 会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 大庭委員 今村委員 飯盛委員 荒牧委員 白木原委員 吉田委員

欠席者 なし

4 会議出席職員

山口教育部長 江頭学校教育担当部長 高塚教育総務課長 松尾保育幼稚園課長 深町生涯学習課長 古庄文化課長 西村保育幼稚園課副課長 福地文化課副課長 松本教育総務課庶務係長

5 教育長の報告事項

- ・お盆が明け、過ごしやすい気候になってきているが、秋雨前線という言葉も出る中、8月は台風8号、9号、10号と立て続けに台風が発生している。台風の数はい少ない状況であるが、2学期が始まるという時期なので、今後の天候に注視して進めていかなければならない。
- ・戦後74年を迎え、平和の願いを後世に伝えていくことがとても必要になってくる。平和教育は非常に重要で、原爆投下や、終戦記念日という8月の節目に戦争体験を継承したり、歴史的事実をしっかり学習課題とするなどしたりしながら、命やきずな、家族愛や助け合いについて、誰もが学び考え、後世へ伝え、恒久の平和を願って進めなければいけないということを強く感じた。
- ・8月1日から2日九州地区市町村教育委員会研修会。研修の中で地域の教育力の話があり、日本は困難に立ち向かい復興をする中で財産である「人」がエネルギーを持ってまとまって元気になるという話であった。私もキーワードは「人」と理解して聞いたところであるが、あいさつやコミュニケーションなど基本的な事から信頼関係を構築することを大切にする必要があると改めて感じた。
- ・4日小城市子どもクラブ球技大会。昨年は猛暑のため中止となったが、今回は空調が効く会場で開催するなど工夫を行いながら無事に終了することができた。
- ・同日中林梧竹翁107回忌。新陰流に学ぶ講演会。
- ・5日全体朝礼会。同日臨時教育委員会、第3回小城市教育委員会評価委員会。
- ・6日不当要求防止責任者講習。
- ・7日課長副課長会議。同日第49回佐賀県人権・同和教育研究大会全体会。8月は同和問題啓発強調月間。多くの研修会、講演会、講座が開催されている。その全体会の中で話を聞かせていただいたが、部落問題とは、日本の歴史の中で生まれ、作られてきた差別問題で、特定の地域に関わりがあること(地縁)や、先祖をたどると被差別身分につながること(血縁)を理由に、今もなお差別や偏見、排除が行われている。すべての人が問題を正しく理解し、問題の解決のために具体的にシミュレーションする大切さを感じた。

- ・ 8日経営戦略会議、事前評価会議。
- ・ 13日から15日にかけて市内公立小中学校の学校閉庁日。今年度も大きな問題は発生していない。
- ・ 16日令和元年度の国民体育大会第39回九州ブロック大会開会式。17日から25日にかけてハンドボール少年女子、バレーボール成年女子の競技が芦刈文化体育館で開催されている。2023年は国民スポーツ大会が佐賀で開催される予定であるが、そのリハーサル的な大会となっている。
- ・ 20日課長副課長会議。同日小城市幼保小連携ネットワーク会議。横のつながりとして公立と私立をまたいだ幼稚園・保育園のネットワークに、小学校の縦のつながりを加えたネットワーク会議。幼稚園・保育園関係17園と、8校の小学校が参加した。
- ・ 21日小城市議会勉強会。同日小城市多忙化対策検討委員会。各学校の具体的な取り組みの報告を受けながら、各校良いところを取り入れてやれるところはやっぺいこうという取り組みにつながる委員会となった。
- ・ 同日午後学力向上研究会全体研究会。教育委員の皆様もご参加いただき、講師は秋田県八郎潟町立八郎潟小学校の小玉史男先生より、沖縄、秋田、佐賀など各県の環境を踏まえて話をされた。私も各先生方が振り返り、意識改革をしながらどう2学期からの授業改善を行うかにかかっていると思ひ、これから物的環境ばかりではなく、人的環境を振り返って改善するということが必要になってくると強く感じた。
- ・ 本日定例教育委員会。以降23日佐賀県市町教育長意見交換会全体会。25日第30回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会。26日小城市学力向上コーディネーター研修会。27日全国中体連市長報告会。9月2日2学期始業式が予定されている。
- ・ 昨日計報があり、長年小城市の文化財保護審議会長をしていたいただいた岩松要輔先生が昨日朝亡くなられた。他にも歴史資料館協議会長、中林梧竹記念館協議会委員や県の文化財保護審議会委員、鍋島家伝来資料の博物館である徴古館の館長を務められ、文化行政に本当にご尽力された。小城市の歴史、伝統を受け継ぐ力になっていただいた先生がお亡くなりになったことは悲しいことだが、先生の思ひを引き継いでいかなければならないと思ひ。心より岩松先生のご冥福をお祈りしたい。

6 議 事

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

承認

【議案第11号】

小城市立学校施設の利用に関する規則の一部を改正する規則

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

消費税及び地方消費税の税率改正に伴い、学校施設の使用料について規則の一部を改正する必要がある。

体育館、武道館、運動場、特別教室の使用料について改正を行うが、現行で内税の施設使用料600円、照明使用料200円をそれぞれ税抜571円、税抜190円に改正する。

なお、施行期日は 10 月 1 日になっており、経過措置として、施行期日前に許可を受けたものについては改正前の料金が適用される。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

承認

第 2 協議事項

【協議第 11 号】

令和 2 年度第 8 回うちどくフェスティバル開催について

〔説明〕

◇文化課長が説明

令和 2 年度第 8 回うちどくフェスティバルの開催について、佐賀うちどくネットワークから開催依頼があり、市長要望の中で内諾されている案件で、家庭での読書の県内普及を目指す行事となっている。

具体的には、参加者が基調講演や所属団体のうちどくの取り組みの事例を発表するものとなっており、現在まで多久、鳥栖、唐津、武雄、神埼、で開催され、今年度は嬉野市で開催される。事業費としては子どもゆめ基金から 100 万円程度の助成を受け、市費の持ち出しはないとの事。

現時点で、開催時期は令和 2 年 10 月から 12 月の間の土曜日午後、場所はドゥイング三日月が妥当ではないかと考えている。

佐賀うちどくネットワークからは地区の P T A との共催の他、準備委員会を 10 月から 3 月にかけて立ち上げていただき、来年度 5 月からは実行委員会として、小城市民図書館を事務局に、準備委員会及び実行委員会の代表は教育長にお願いしたいということであった。

〔意見・質問〕

○B 委員

昨日の学力向上研究会の講演の中でも、学力の原因を外的な要因に求めすぎるという話もあった中、「早寝、早起き、朝ごはん」についても近年あまり変化が無いという話をされた。

教員それぞれが学校教育の質を上げることも大切だが、一方で家庭と地域の連携も重要。子どもたちが家庭でどう過ごすか、幼少の読み聞かせなど保護者の方にも立ち上がってもらおうと小城市の学力も上がると思う。

そういう意味で、このうちどくフェスティバルも頑張っってそういうところにつなげていければと感じた。

○E 委員

うちどくフェスティバルが子どもたち対象の事業で、子どもたちの参加を希望されているということであれば、地元事務局で実行委員として子どもたちも選出すれば子ども目線でいろんな意見が出るのではないかと。

○F 委員

小中学校の保護者や P T A を巻き込むことも大切だが、幼稚園、保育園の保護者の皆さんにも積極的に働きかけて、取り組みを広げることも効果的ではないかと感じた。

○教育長

県内 10 市でも小城市、佐賀市及び鹿島市がこれを開催していなかった中、市長

が令和2年度の開催を内諾されている。家庭の在り方を考える機会にしてもらいたいと思うし、それは就学前を含めて呼びかけをする必要があると思う。

窓口は文化課だが、他の課とも連携して事業を進めさせていただきたい。

〔結果〕

了承

7 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

〔説明〕

◇教育総務課庶務係長が説明

①小城市文化連盟芦刈支部／あしかりお月見会

②NPO ネオギャラクシー／親子謎解きウォーク「アルクエスト」

③佐賀県プロ野球県人会

／第21回佐賀県プロ野球県人会ドリーム旗争奪中学生軟式野球大会

④(株)サガテレビ／ハッピードリームサーカス佐賀公演

⑤詩吟朗詠 錦城会佐賀県本部／詩吟朗詠 錦城流佐賀県本部大会

⑥赤胴鈴之助剣道大会・竹刀供養実行委員会

／第21回 赤胴鈴之助剣道大会・竹刀供養

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(2) 令和元年度運動会・生活発表会について

〔説明〕

◇保育幼稚園課長が説明

私立を含めた市内全ての園の運動会と生活発表会の予定をお示ししている。

これまでは教育委員会の代表として、委員の皆様にご各園から案内が出ていたが、教育委員の業務が激務であることと、運動会の時期等で小中学校の行事と日程がかぶるケースがあることから、教育委員会の代表としての案内を差し控え、入園式、卒園式の式典のみを案内する形で進めていきたい。

〔意見・質問〕

○B委員

参加したい委員については参観可能か。

○保育幼稚園課長

可能。近年の生活発表会は園児の祖父母の参観もあり参観者が多く、入れ替え制や抽選している園もある。今回から運動会や生活発表会については就学前の施設からの案内については控えさせていただく。

〔結果〕

了承

(3) 小城市内小中学校運動会・体育大会（2学期実施）について

〔説明〕

◇学校教育担当部長が説明

2学期実施分の小城市内小中学校運動会・体育大会について一覧表を作成した。

こちらについても幼稚園・保育園と同様に委員出席の割り振りは行っていないので、ご都合のつく委員にご参加いただければと考えている。

また、雨天延期については事前にお知らせしたい。

〔意見・質問〕

○B委員

行事の名称について、運動会、体育祭、体育大会など名称が色々あるが。

○D委員

学校だけでなく、岩松全体協議会など、校長判断ではないところもある。

○教育長

地域とのかかわりの中で、名称も変遷しているところはある。

〔結果〕

了承

(4) 令和元年度小城市子どもクラブ球技大会の実施結果について

〔説明〕

◇生涯学習課長が説明

昨年度猛暑により中止となった小城市子どもクラブ球技大会の今年度の結果について報告する。

本大会は熱中症対策と参加チーム減少が課題であったが、熱中症対策として、空調が利用できる芦刈文化体育館と地域交流センターあしばる多目的ホールに会場を変更した結果、快適な環境での競技につながった。

また、参加チームの減少対策としては、佐賀県子ども会連合会実施の県大会の基準通りであったものを、男女混成チームの参加を認めるなど大きく基準を緩和させ、1チーム増の31チームの参加につながった。

大会結果としてドッジビーは10チームで競い、優勝は小城町の高原、ミニバレーボールは6チームで競い小城町のSAKURAが優勝した。

優勝チームは伊万里市で開催された県子ども会連合会主催の県大会に出場したが、残念ながら予選リーグ敗退という結果であった。

〔意見・質問〕

○B委員

参加チームの地区ごとのばらつきが課題。工夫してチームを結成するなど課題はあっても来年も開催したいと思うような結果だと思う。

○生涯学習課長

芦刈地区からの参加が今回なかったが、芦刈で地区大会だけでも開催できないかという話があった。今回は市の大会不参加では難しいとして回答したが、そういう動きもあるということで今後期待したいと思っている。

○E委員

混成チームもあったとの事だが、どういった人が集まったチームか。

○生涯学習課長

基本的には子どもクラブ単位のチーム編成をお願いしているが、参加ができない子どもクラブについては複数集まってもらって構わないということで、優勝したミニバレーボールのSAKURAチームは小城町の子どもクラブでの混成チームとなっている。

○教育長

子どもクラブ球技大会については、数年前からいろいろな課題があったが、基準

を緩和するなど市民会議でも議論され、各地区で課題の共通認識を持たれているので、子どもの縦のつながりや横のつながりなど今薄れているところを大切にしながら、この球技大会は進めていきたいと考えている。

〔結果〕

了承

8 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 9月26日(木) 午前9時30分～

【場 所】 小城市役所 西館2階 2-6会議室

9 議 事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について(非公開)

〔承認〕

【議案第12号】

令和元年第3回小城市議会定例会における教育委員会所管議案について

〔承認〕

第2 報告事項

【報告第20号】

就学援助の認定について

〔了承〕